何一人で楽しんでやがる
テメエもしゃぶって準備すんだよっ！
イヤァ！
そんなもの近づけないでっ!!
おら…さっさと咥えやがれっ！
ふぐっ!?
むぐぅ〜っ!!
だめ…体が痺れて…思うように動けない…っ
ギヒヒ…毒が回ってきたのか？マン汁が濃くなってきたぜ
味といい舐めざわりといい極上のエロマンコだ！
んん…ッ
ん…アっ！
舌がアソコの中を這い回る度嫌悪感が引き取られて…
濡けるような快感が広がっていくっ
体が疼いて…堪らない…ッ!!
ふむぅ…ッ
ギヒ…最後に子宮の味見もしておくか
ヒッ！
やだ…っそんな所まで嘗められたら…
んぶぅ〜っ！
私…もう…ッ！
イってしまう〜っ!!
出ちゃ…ッあぁ——ッ!!!
らめぇ…！
かはっ！
ガハハハハッこの牝漏らしながらイキやがった！
いやぁ…！見ないでぇ〜ッ!!
なんて臭ぇ小便だまだ続いてるぜぇ
ケッケッケッこんな粗相をするだらしねぇ看守には
俺達でたっぷり仕置きが必要だなぁ
ヒッ！

続きはコミックアンリアルVol.10でお楽しみください♥